

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスMogen(放課後等デイサービス)			公表日 令和 7年 2月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用児童が多い場合はグループ療育の部屋を使うなど適宜対応している。簡単な運動療育を行えるスペースを設けている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利用児童数に対して規定以上の職員配置を行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ホワイトボードを用いて視覚的な支援を行っている。毎日衛生チェックを行い環境を整備している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日衛生チェックを行ない、快適な環境を提供している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	落ち着かない児童がいる場合や体調不良の際は別室を使用できる環境を整えている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	毎日職員朝礼で療育内容を振り返り、職員間で共有している。問題点を見直し業務改善に繋げている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	評価表を周知したのち業務改善に繋げている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日の朝礼で振り返り、意見を出し合いながら業務改善につなげている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17%	83%	今後検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法定研修以外の研修にも参加している
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し、HPで公表している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	定期的に面談し、子どもの課題や保護者のニーズを確認したうえで計画に反映している
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを実施し、共通理解の下で支援計画を作成している
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを実施し計画を作成している。毎日の朝礼で支援内容について責任者のフィードバックを得る機会を設けている。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを実施し計画を作成している。定期的にOT評価を行ない支援につなげている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを行い、個人に適切な目標設定をおこなっている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	担当者が立案し職員間で共有している。職員全員で結果を共有し次回の立案につないでいる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	日々のプログラムを共有し、固定化しないよう職員で意見を出し合い工夫している。児童自身が選び選択できる機会を提供している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	対象児童の状況に応じて個別療育とグループ療育を組み合わせ実施している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼で当日の支援について打合せを行い、職員内で共通理解の下、支援を行なっている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	朝礼にて前日の振り返りをおこない、支援内容の共有をおこなっている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の記録を取ると共にLINEワークスで職員間の情報共有を行い改善につなげている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを実施し計画作成を行なっている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	83%	17%	個別・集団・グループ・クラブ活動の中に組み合わせている
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	集団療育では活動内容の自己決定を基本としている。定期的に子どもの興味関心を元に課題を増やすよう工夫している。	
関係機関や保	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管が参加し情報共有を行っている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて行っている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83%	17%	保護者を通じて適切に行っている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	必要に応じて行っている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%	現状該当なし

護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて行っている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	17%	83%	今後検討していく
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	83%	17%	可能な限り参加している
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々の状況についてLINEを利用してご家庭へ情報共有をおこなっている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	年に一回保護者会の機会を設け支援を行なっている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時の説明をはじめ、変更が生じた際には随時説明をおこなっている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	定期的に面談を行い、本人や保護者の意向を確認したうえで計画書に反映している
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画書の内容について説明を行い、計画の同意を得ている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期的に面談を行い、本人や保護者の意向を確認したうえで支援につなげている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	年に一回保護者会を行い保護者間の交流をおこなっている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情相談窓口を設置、周知している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月おたよりを発行するとともに、SNSを活用して情報発信をしている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	事業所内で規程を元に取り扱いをおこなっている。社内研修を行い個人情報の取扱いに留意している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	保護者の性質を理解し必要な対応をもって情報の伝達をおこなっている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していく
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	マニュアルを整備し、定期的に事業所内研修をおこなっている。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	災害発生に備え、定期的に研修や訓練を行っている。年間行事に取り入れ行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	入所の際に確認をさせていただき、状況が変わった場合に都度情報をいただいている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%	現在アレルギー対応児童なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成し、定期的に安全に関する研修をおこなっている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%	インスタグラム等を通じて取り組みを周知している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	LINEワークスにてその都度共有し業務改善に繋げている。年間行事で研修をおこなっている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に県の研修へ参加し、事業所内で職員研修へと繋げている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	33%	現在身体拘束の対象児童なし